

## 令和6(2024)年度 とちぎネットアンケート結果

### 第13回 外国人との共生社会の実現に向けての意識調査

#### 1 調査目的

栃木県に居住する外国人の数は年々増加しており、今後も増加することが見込まれます(令和6年11月末現在:県全体1,905,560人のうち55,532人(2.9%))。外国人が地域社会の一員として受け入れられ、日本人と外国人が共に安心・安全に暮らし、働ける環境が整った、共生社会の実現に向け、県民の外国人との共生に係る意識調査を行い、必要となる施策の参考とするものです。

(担当課:生活文化スポーツ部 県民協働推進課)

#### 2 調査概要

##### (1) 調査対象者

822名 (とちぎネットアンケート協力者)

##### (2) 調査期間

令和7(2025)年1月7日～1月20日

##### (3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答

#### 3 回答者属性

回答数 496名 (回答率60.3%)

##### (1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	208	41.9 %
女性	283	57.1 %
未回答	5	1.0 %
計	496	

##### (2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	1	0.2 %
20代	14	2.8 %
30代	32	6.5 %
40代	129	26.0 %
50代	132	26.6 %
60代	119	24.0 %
70代以上	69	13.9 %
計	496	

##### (3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	245	49.4 %
県南	141	28.4 %
県北	110	22.2 %
計	496	

#### (注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

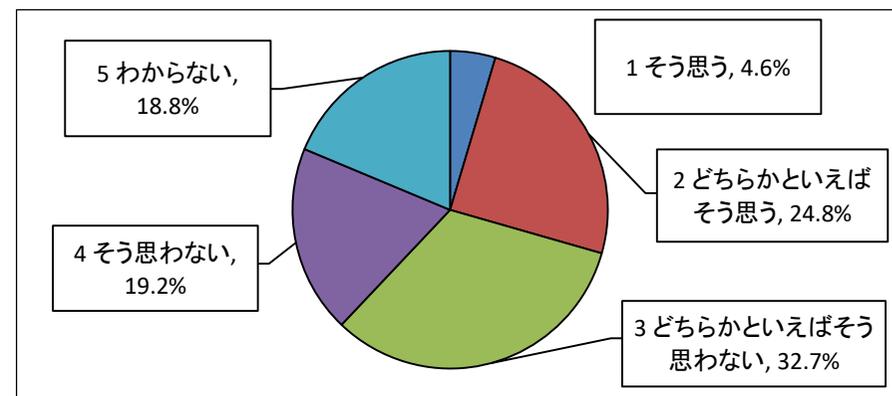
#### 4 調査結果

問1 あなたは、県内には外国人が住みやすい環境(言葉の違いや、文化・慣習・制度の違いを踏まえた配慮等)が整っていると思いますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 そう思う	4.6%	23
2 どちらかといえばそう思う	24.8%	123
3 どちらかといえばそう思わない	32.7%	162
4 そう思わない	19.2%	95
5 わからない	18.8%	93

( n = 496 )



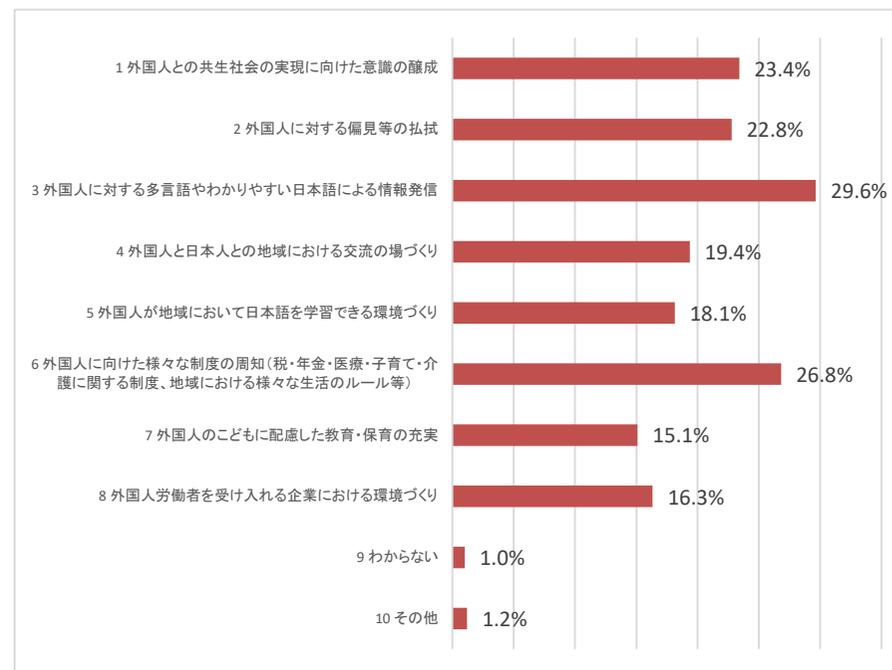
問2 問1で選択肢「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を選んだ方にお聞きます。

あなたが、県内の現状について、特に環境整備が進んでいないと思う部分はどのようなことですか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 外国人との共生社会の実現に向けた意識の醸成	23.4%	116
2 外国人に対する偏見等の払拭	22.8%	113
3 外国人に対する多言語やわかりやすい日本語による情報発信	29.6%	147
4 外国人と日本人との地域における交流の場づくり	19.4%	96
5 外国人が地域において日本語を学習できる環境づくり	18.1%	90
6 外国人に向けた様々な制度の周知(税・年金・医療・子育て・介護に関する制度、地域における様々な生活のルール等)	26.8%	133
7 外国人のこどもに配慮した教育・保育の充実	15.1%	75
8 外国人労働者を受け入れる企業における環境づくり	16.3%	81
9 わからない	1.0%	5
10 その他	1.2%	6

( n = 257 )



#### 【その他の主な意見】

- ・地域で外国人を受け入れるためのユニバーサルデザインを取り入れた環境づくり
- ・外国人が様々な意見を出すことのできる場づくり

問3 あなたは、共生社会の実現に向けた意識の醸成のため、どのような取組があれば良いと思いますか。

\*「やさしい日本語」とは、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

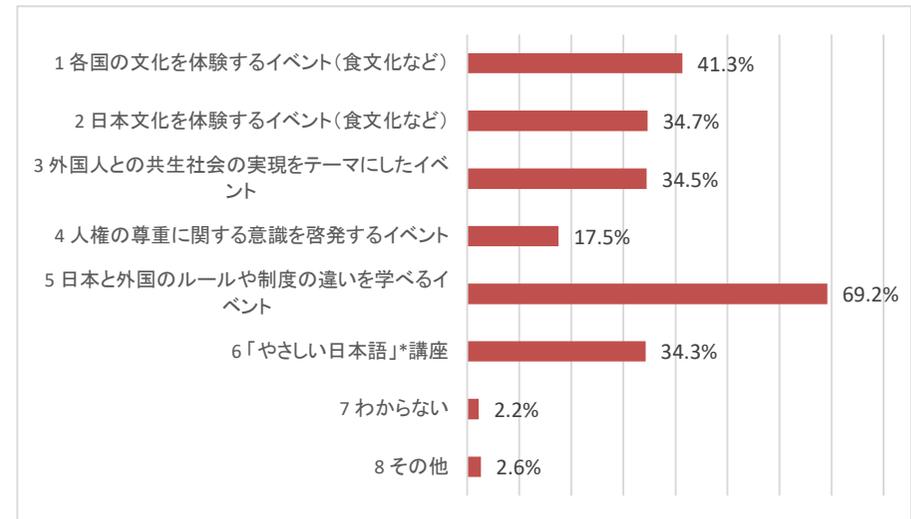
(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 各国の文化を体験するイベント(食文化など)	41.3%	205
2 日本文化を体験するイベント(食文化など)	34.7%	172
3 外国人との共生社会の実現をテーマにしたイベント	34.5%	171
4 人権の尊重に関する意識を啓発するイベント	17.5%	87
5 日本と外国のルールや制度の違いを学べるイベント	69.2%	343
6 「やさしい日本語」*講座	34.3%	170
7 わからない	2.2%	11
8 その他	2.6%	13

( n = 496 )

【その他の主な意見】

- ・日本人への日本文化教育も必要
- ・日本人・外国人それぞれがお互いの国の慣習・文化的違いを学ぶ機会



問4 あなたは、外国人に対する偏見や不当な扱いをなくすために、どのような取組があれば良いと思いますか。

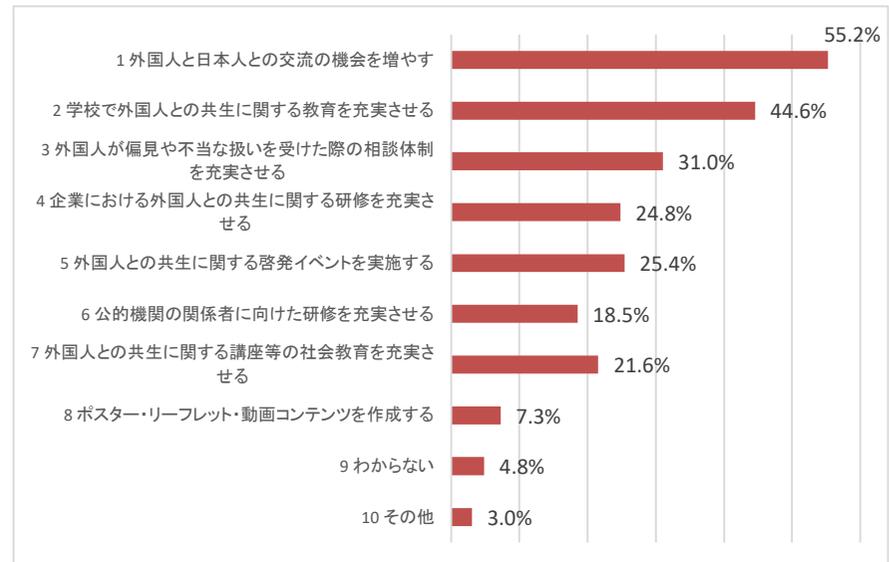
(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 外国人と日本人との交流の機会を増やす	55.2%	274
2 学校で外国人との共生に関する教育を充実させる	44.6%	221
3 外国人が偏見や不当な扱いを受けた際の相談体制を充実させる	31.0%	154
4 企業における外国人との共生に関する研修を充実させる	24.8%	123
5 外国人との共生に関する啓発イベントを実施する	25.4%	126
6 公的機関の関係者に向けた研修を充実させる	18.5%	92
7 外国人との共生に関する講座等の社会教育を充実させる	21.6%	107
8 ポスター・リーフレット・動画コンテンツを作成する	7.3%	36
9 わからない	4.8%	24
10 その他	3.0%	15

( n = 496 )

【その他の主な意見】

- ・偏見のベースに「外国人が何をしているかわからない」があると思うので、そうした日本人側の不安感を共有する取組
- ・講義や研修などのイベントは堅苦しいため、「食」を通じた交流

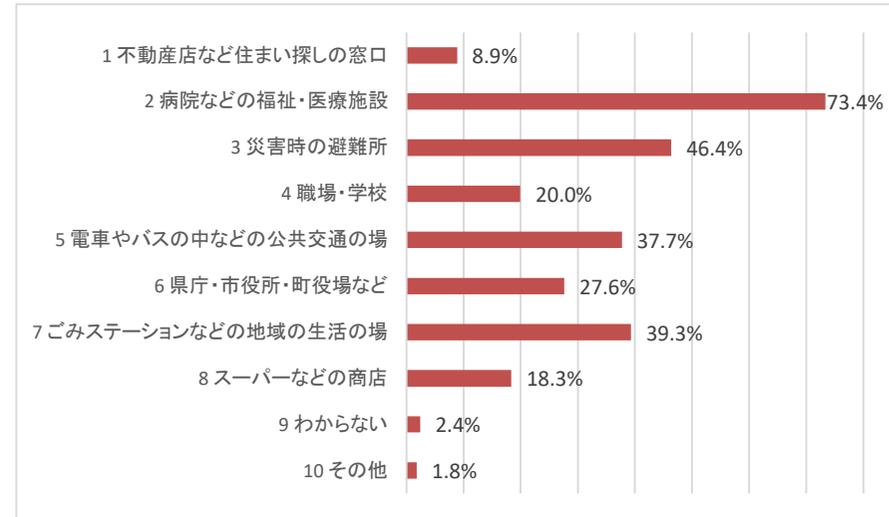


問5 あなたは、どのような場所の情報が多言語やわかりやすい日本語で表示されていれば良いと思いますか。

(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 不動産店など住まい探しの窓口	8.9%	44
2 病院などの福祉・医療施設	73.4%	364
3 災害時の避難所	46.4%	230
4 職場・学校	20.0%	99
5 電車やバスの中などの公共交通の場	37.7%	187
6 県庁・市役所・町役場など	27.6%	137
7 ごみステーションなどの地域の生活の場	39.3%	195
8 スーパーなどの商店	18.3%	91
9 わからない	2.4%	12
10 その他	1.8%	9

( n = 496 )



【その他の主な意見】

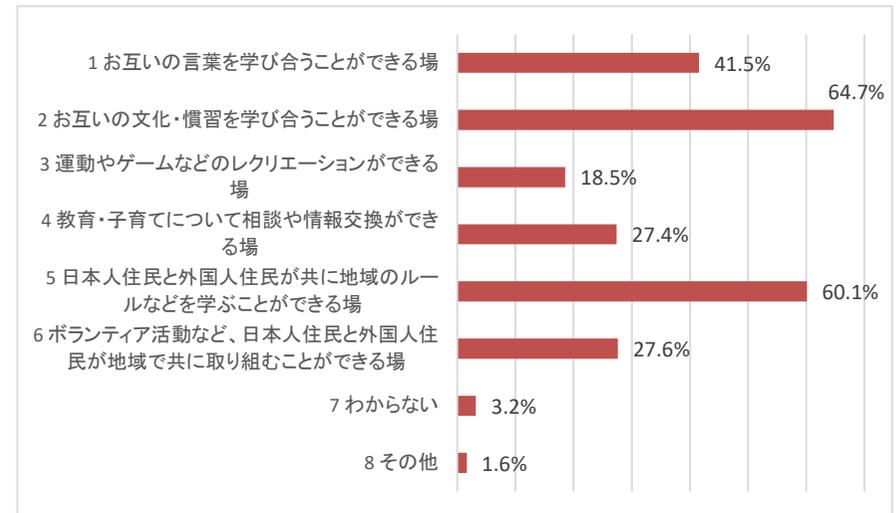
- ・様々な国の方がいるため、翻訳ソフトやピクトグラムなど、文字に頼らない方法の検討が必要
- ・スマホ翻訳で十分

問6 あなたは、地域の日本人と外国人が交流できるよう、どのような場所があれば良いと思いますか。

(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 お互いの言葉を学び合うことができる場	41.5%	206
2 お互いの文化・慣習を学び合うことができる場	64.7%	321
3 運動やゲームなどのレクリエーションができる場	18.5%	92
4 教育・子育てについて相談や情報交換ができる場	27.4%	136
5 日本人住民と外国人住民が共に地域のルールなどを学ぶことができる場	60.1%	298
6 ボランティア活動など、日本人住民と外国人住民が地域で共に取り組むことができる場	27.6%	137
7 わからない	3.2%	16
8 その他	1.6%	8

( n = 496 )



【その他の主な意見】

- ・各国の料理が食べられるイベント(どの国も食が基本なので)
- ・必要は無い